

## シンポジウム概要

発達障害と高次脳機能障害は同様に脳機能の障害です。しかし、両者共に比較的新しい概念であり、専門家も社会の理解もいまだ不足しているために、発達障害児(者)や高次脳機能障害児(者)の家族は大きなストレスを抱えています。そのような家族の支援ニーズに応える相談窓口とはどうあるべきなのか、発達障害児(者)と高次脳機能障害児(者)の家族と相談者が一堂に会して考える初めてのシンポジウムです。

なお、本シンポジウムは、厚生労働省障害者保健福祉推進事業における調査の一環として開催されます。

## 第 2 部

### パネルディスカッション

#### 「発達障害と高次脳機能障害の 相談を巡る現状と課題」

コーディネーター

山口幸一郎(早稲田大大学院 教職研究科 客員教授)

パネリスト

太田三枝子(高次脳機能障害者と家族の会 副代表)

柏木 理江(東京都発達障害者支援センター 相談員)

豊田 朋子(アウトリーチ 代表)

野口美加子(当事者家族)

細見 みゑ(東京高次脳機能障害協議会 理事長)

和田 敏子((社福)世田谷ボランティア協会

福祉事業部長 高次脳機能障害相談員)

主催・お問い合わせ

(財)パブリックヘルスリサーチセンター

tel 03-5287-5070

fax 03-5287-5072

後援 (五十音順)

NPO 法人東京高次脳機能障害協議会

NPO 法人東京都自閉症協会

早稲田大学教育総合研究所

# いま、必要な相談とは

発達障害児(者)と高次脳機能障害児(者)の家族にとって

財団法人パブリックヘルスリサーチセンター主催  
厚生労働省障害者保健福祉推進事業 公開シンポジウム

## 第 1 部

### 基調講演

「発達障害と高次脳機能障害を考える  
- 必要な支援に向けて -」

坂爪 一幸

(早稲田大学 教育・総合科学学術院 教授)

### アンケート調査結果報告

浅野 昌彦

((財)パブリックヘルスリサーチセンター  
研究員)

3月28日(土)

13:00 ~ 17:00

参加無料

(事前申込制)

申込方法は裏面参照

会場 リーガロイヤルホテル東京 3階  
ロイヤルホール

東京メトロ東西線「早稲田」駅下車 徒歩7分

都電荒川線 「早稲田」駅下車 徒歩3分



# お申込書

必要事項をご記入の上、FAX 03(5287)5072にお送りください。  
複数の方のお申し込みをされる場合は「2人目」「3人目」の欄をご使用ください。

1 人 目	フリガナ 氏 名	
	〒 - ご住所 電話番号 FAX メールアドレス @	
2 人 目	フリガナ 氏 名	
	〒 - ご住所 電話番号 FAX メールアドレス @	
3 人 目	フリガナ 氏 名	
	〒 - ご住所 電話番号 FAX メールアドレス @	

財団法人パブリックヘルスリサーチセンターのホームページ(<http://www.phrf.jp/>)、またはメール([info@phrf.jp](mailto:info@phrf.jp))でもお申し込み頂けます。お名前、ご住所、ご連絡先をご記入ください。  
お申し込みをされた方には、参加証を送らせて頂きますので大切に保管の上、当日ご持参下さい。

お問い合わせ先



Public Health Research Foundation  
財団法人パブリックヘルスリサーチセンター

〒169-0051 新宿区西早稲田1-1-7  
tel 03-5287-5070 fax 03-5287-5072  
ホームページ <http://www.phrf.jp/>



当財団はプライバシーマークを取得しております。ご提供いただく個人情報については財団のプライバシーポリシーに基づき適正に取り扱いを行いますので安心してお申込み下さい。当財団個人情報保護方針については以下のサイトでご確認下さい。 <http://www.phrf.jp/security/index.html>

<主催者よりお知らせ>

2009年度 PHRFヘルスケアカウンセラー養成講座 (5月開講予定) 受講生募集中です

こころを病む人が多い現代で必要とされているカウンセラーを目指して...

日常で、仕事で、人間関係に対処できるスキルを身につけることを目指して...

「こころ」の問題をきちんと学んでみませんか

詳しくは上記お問い合わせ先までお問い合わせ下さい。